

# 第147回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年6月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,926	-1.50	-0.31	4,044	-0.49	-0.19
東部地区	14,229	-0.67	-0.06	5,571	0.55	-0.10
西部地区	10,849	1.03	0.02	4,003	3.01	0.00
駅南地区	6,409	0.10	0.14	2,660	2.30	0.37
半田地区	3,567	1.30	0.19	1,311	2.34	0.07
横山地区	5,641	-0.68	0.17	1,838	-0.27	0.10
茨目・田尻地区	6,885	-0.86	0.14	2,283	-2.18	0.17
荒浜地区	5,213	-1.43	-0.07	2,027	0.09	0.09
その他地区	21,396	-2.16	-0.07	7,177	-1.02	0.01
西山町地区	6,469	-1.62	-0.20	2,146	-0.64	-0.27
高柳町地区	2,022	-3.48	0.00	846	-1.28	-0.23
柏崎市計	92,606	-0.97	-0.03	33,906	0.19	0.00
刈羽村	4,974	-0.40	0.04	1,539	1.51	0.19
小国地区（長岡市）	6,563	-1.33	-0.10	2,160	0.41	0.13
出雲崎町	5,300	-1.66	-0.15	1,827	0.05	0.00
合計	109,443	-1.00	-0.04	39,432	0.24	0.01

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で912人、0.97％、刈羽村で20人、0.40％、小国地区（長岡市）で89人、1.33％、出雲崎町で90人、1.66％とそれぞれ減少し、全体では1,111人、1.00％の減少となった。

また、前月比においても、刈羽村で2人、0.04％と増加したが、柏崎市で35人、0.03％、小国町で7人、0.10％、出雲崎町で8人、0.15％と減少したことから、全体では48人、0.04％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では柏崎市で65世帯、0.19％、刈羽村で23世帯、1.51％、小国町で9世帯、0.41％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加し、全体では98世帯、0.24％と増加している。

また、前月比においても、柏崎市で2世帯、0.00％と減少したが、刈羽村で3世帯、0.19％、小国町で3世帯、0.13％と増加したことから、全体では4世帯、0.01％の増加となった。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,172		-3.22		-2.65	
月間有効求職者	1,061		-8.05		-1.11	
月間有効求人倍率	1.10	0.70	0.05*	-0.20*	-0.02*	-0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,172人と前年同月比で39人、3.22％の減少、前月比でも32人、2.65％と減少した。

一方、月間有効求職者数も1,061人と前年同月比で93人、8.05％の減少、前月比でも12人、1.11％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.10倍と前年同月比で0.05ポイント上回ったものの、前月比では0.02ポイント下回った。なお、県平均0.70倍に対しては0.40ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が397人と前年同月比で45人、10.18％の大幅な減少、月間新規求職者数も292人と前年同月比で11人、3.63％と減少した結果、月間新規求人倍率は1.36倍と前年同月の1.46倍に対して0.10ポイント下回った。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年6月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	106	82	11	335	249
共 同 住 宅	0	-2	0	0	-6
事 務 所	0	-1	0	3	1
作 業 所 ・ 工 場	3	1	2	8	-1
営 業 建 物	10	3	4	19	8
公 共 建 物	0	0	-1	1	0
そ の 他	20	3	-2	50	10
合 計	139	86	14	416	261

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が139件と前年同月比で86件の増加、前月比でも14件の増加となった。工種別内訳の主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で82件の大幅な増加、前月比でも一般住宅（併用）で11件の増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が70件、増築が39件、改築が30件となっている。また、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が57件（うち新築23件、増築22件、改築12件）、市外施工業者が48件（うち新築27件、増築6件、改築15件）、未定1件（うち改築1件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,187	2.25	0.51	15,413	2.86	-16.64
電 力	11,613	-5.66	-0.27	44,403	-7.91	5.70

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,462口、2.25%の増加、前月比でも337口、0.51%の増加となった。一方、電力では前年同月比で697口、5.66%の減少、前月比でも32口、0.27%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で430千kwh、2.86%の増加となったものの、前月比では3,077千kwh、16.64%と大幅に減少している。一方、電力は前年同月比で3,814千kwh、7.91%の減少となったが、前月比では2,397千kwh、5.70%と増加している。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,136,941	-10.57	-15.02	725,349	-3.80	2.68
営 業 用	194,136	-6.36	1.96	130,889	-2.68	2.98
工 場 用	700,940	31.47	25.81	136,196	-13.82	12.79
官 公 学 校 用	223,181	-12.77	9.34	89,091	-7.72	15.66
そ の 他				280	258.97	23.89
合 計	2,255,198	-0.55	-1.50	1,081,805	-5.37	4.87

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で12,554m<sup>3</sup>、0.55%の減少、前月比でも34,396m<sup>3</sup>、1.50%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用を除く全ての用途で減少したが、前月比では家庭用を除く全ての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で61,399m<sup>3</sup>、5.37%の減少となったものの、前月比では50,302m<sup>3</sup>、4.87%と増加した。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で減少したが、前月比では全ての用途で増加している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	89,170	19.47	2.26	93,649	19.59	2.63
西 山	58,334	47.92	2.03	54,633	55.07	2.74
米 山	24,534	16.69	-9.93	22,912	19.60	-8.91
合 計	172,038	27.34	0.25	171,194	29.01	0.95

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で36,947台、27.34％の大幅な増加、前月比でも434台、0.25％と増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で38,502台、29.01％の大幅な増加、前月比でも1,623台、0.95％の増加となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターの入口・出口で大幅に増加し、前月比においては米山インターの入口・出口で減少、柏崎・西山インターの入口・出口で増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	355,588	5.74	-0.35	142,429	3.32	0.91
平 残	354,113	5.87	0.83	140,316	3.59	0.36

預金は、末残が前年同月比で19,328百万円、5.74％の増加となったものの、前月比では1,253百万円、0.35％の減少となっている。また、平残においては前年同月比で19,657百万円、5.87％の増加、前月比でも2,943百万円、0.83％の増加となった。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で4,577百万円、3.32％の増加、前月比でも1,285百万円、0.91％と増加している。また、平残においても、前年同月比で4,865百万円、3.59％の増加、前月比でも509百万円、0.36％の増加となっている。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,681	17.49	13.16
交 換 金 額	5,272	66.81	32.97
不 渡 り 手 形 枚 数	0	0.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	-100.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、前年同月及び前月の休日要因から交換枚数が前年同月比で846枚、17.49％、前月比でも661枚、13.16％と大幅に増加している。また、交換金額においても、前年同月比で2,112百万円、66.81％、前月比でも1,307百万円、32.97％と大幅に増加した。なお、不渡手形は発生していない。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は3件（前年同月5件、前月7件）、負債総額6億円（同36億円、同7億円）、1件当たりの負債額2億円（同7億円、同1億円）となった。

地区別では下越地区で3件（新潟市2件、佐渡市1件）発生したが、中越地区、上越地区では発生していない。業種別は製造業1件、サービス業・その他2件で、倒産原因別の状況は販売不振3件となっている。

当月の企業倒産は3件、負債総額で6億円と前年同月比では件数で2件減少、負債総額で30億円減少している。なお、平成20年上半期（1～6月）の企業倒産は37件（前年同期33件）、負債総額271億円（同154億円）となっている。

倒産原因別の状況では、販売不振を主因とする「不況型倒産」が大半を占め、売上そのものが伸び悩んでいる企業が多いなか、原材料高が収益へ及ぼす影響も深刻さを増しており、特に価格交渉力に劣る中小零細企業など、価格転嫁が困難な企業が行き詰まるケースも増加していく可能性もあるため、今後の倒産動向には一層の注意が必要となっている。